

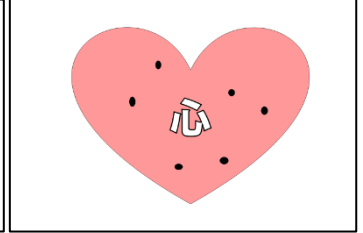
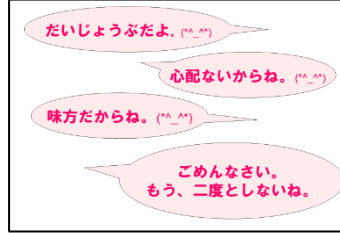
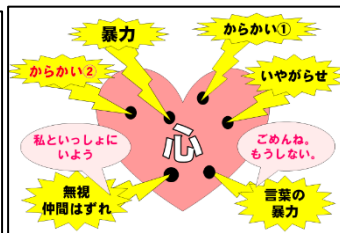
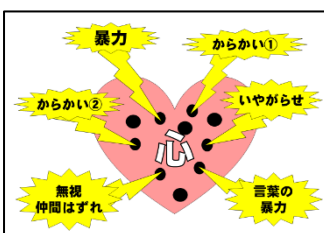


お話朝会 「いじめの矢と心」について ～9 月は「リスペクト(いじめ防止啓蒙)月間～

昨日のお話朝会（校長講話）は、「いじめ」についてお話ししました。以下内容です。

城岳小学校の学校教育目標は「笑顔いっぱい 輝く子」です。9 月はいじめ防止月間ですが、「いじめ」は、城岳っ子の笑顔をなくしてしまいます。そこで、今日は「いじめの矢と心」について、お話ししますね。ここに心がありますが、いじめにはいろんな「矢」があります。叩いたり、蹴ったりする『暴力の矢』、「きもい」「くそ」「死ね」などの『言葉の暴力の矢』、人の机やノートに落書きをする、物を隠すなどの『いやがらせの矢』、失敗したり、人と違うことを笑う『からかい①の矢』、また、しゃべり方や人の動きを真似する『からかい②の矢』、「〇〇と話すの止めようぜ」と、その人が来たらおしゃべりを止める、または逃げる、ひとりぼっちにする『無視や仲間外れの矢』です。矢がどんどん刺さると、とても「心が痛い」のです。ですが、仲間外れされている子に「私と一緒にしよう」と声をかけると、矢がとれます。言葉の暴力をしてしまったお友達に「ごめんね。もうしない。」と謝ると、矢はとれます。その他にも『大丈夫だよ』『心配ないからね』『味方だからね』等の励ましの言葉を使うと、矢はとれていきます。でもね、矢はとれても「心」に刺さった矢の後には、穴が開いたままなんです。いじめられたことは、いつまでも心にあるのです。校長先生もこんなに大人になったのですが、小学校 2 年生の時、転校先の学校で「仲間外れ」にされました。今でも、その時の教室のことなどをはっきりと覚えています。だから、『いじめはぜったいに許されない』のです。7 月にみんなに行ったアンケートの中で、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか？」という質問に、「あまり思わない、全く思わない」と答えたお友達が 17 名いました。「遊んでいるだけだし…」「いじめられている方が悪いんだし…」と思っているのかもしれませんが、もう一度いいます。心の穴は、残ったままなのです。『いじめはぜったいに許されない』ものなんです。そこで、いじめが起きにくい学級があります。どんな学級かというと、①ニコニコ笑顔、ていねいな言葉、明るいあいさつができる学級、②学級、学校のルールを守る学級、③教室がきれい、整頓されている学級、④係活動、委員会活動を進んで取り組み頑張る学級、⑤失敗しても認め、励まし合う、お互いがリスペクトできる学級、だそうです。そこで、そんな学級になることを目指し、「チーム〇年〇組」として、ぜひ学級旗を作成してほしいのです。また、みんなが安心で、仲良くなれるような「なかよしプロジェクト」、昨年は下校する前にみんなとジャンケンして帰る、学級の合言葉を大きな声で言って帰るなどのプロジェクトを考えてましたが、今年もぜひ考えて下さい。校長先生は、どの学級が一番、チームとして「なかよし」なのか、観察しますね。では、これでお話朝会終わります。

Zoom での開催でしたが、画面越しに各学級がしっかりお話を聞いているのが分かり、大変うれしく思いました。ご家庭でも、今回のお話朝会のことを話題にしていただけたらと思います。



城岳小学校のアンケートから
あなたは、どんな理由があっても
「いじめ」はいいなことだと思いますか？
あまり思わない・まったく思わない
17名
遊んでいるだけ
いじめてない
いじめられる方が
悪い

**いじめは
ぜったいに
許されない！**

